



ともか 田口 智花 さん (26)

# まくひとしごと 枕崎 × 人 × 仕事 No.18

## 枕崎市立図書館 / 住吉町

「枕崎 × 人 × 仕事」では、枕崎にあるさまざまな仕事と、その仕事に携わる人を紹介します。今月は、NPO 法人「枕崎みしのたくかにと」取材しました。



今年の4月からリニューアールオープンし、多くの方が訪れている枕崎市立図書館。今回は、枕崎市立図書館の指定管理者であるNPO法人「枕崎みしのたくかにと」に勤める田口智花さん取材しました。

現在はカウンターで本の貸し出しや返却の受付、問合せへの対応などの業務や新しく導入された図書館システムへの本の登録作業などを行っています。最近では、子ども読書活動推進研修会の業務にも携わり、資料の作成から講師の方へのお礼状の送付まで、研修会を開くためにどのようなことが行われているか、その裏側を学びました。「今の職場は周りの人に恵まれているので楽しい。何より、本に囲まれているのがこの仕事の魅力」と話します。



### スポーツ・文化 イベント情報

南浜館  
開 9:00 ~ 17:00  
※入館は16:30まで  
休 毎週月曜日  
※月曜日が祝祭日の場合は翌日  
問 スポーツ・文化振興課  
TEL72-9998



### 焼酎ポスター展 ~History Of Satsuma Shuzo~

薩摩酒造株式会社の協力により、歴代の焼酎ポスターや広告などを一堂に展示します。

- 会期 9月19日(日)~10月17日(日)
- 会場 南浜館(第2展示場、市民ギャラリー)
- 観覧料 無料

### しゃらくたてがみ写真展

枕崎の写真グループ「しゃらくたてがみ」による作品展。自然などをテーマにしたさまざまな作品を展示します。

- 会期 9月19日(日)~10月17日(日)
- 会場 南浜館(第1展示場)
- 観覧料 無料

### 秋の風を感じて歩こう! 走ろう!

10月1日(金)から31日(日)にかけて、オン

ラインでのラン&ウォークイベントを実施します。期間中に多くの距離をランニングもしくはウォーキングすることにより、全国自治体ランキングに反映されます。オンラインのため、密にならずに好きな日や時間に参加することができます。運動が好きな方、これから運動を始める方、運動不足を感じている方など、多くの方のご参加をお待ちしております。詳細は、本紙折込チラシまたはarbeeの公式HP (<https://arbee.net/octoberun/>) をご確認ください。

#### 【参加の方法】

- 「オクトーバー・ラン&ウォーク2021」は、スマートフォンのアプリを使用するオンラインイベントです。ラン&ウォークそれぞれのアプリをインストールしてご参加ください。
- スポーツタウン WALKER(ウォーキング用)
  - TATTA(ランニング用)



## 今月の担当は りっか隊員です!



こんにちは、地域おこし協力隊の篠塚夏です。最近よくTwitterで枕崎の発信をしているのですが、「いいね」が100を超えることが増えてきました。「映え」や「ウケ」を狙いすぎず、感動を伝えたい!という率直な想いが人々の心に響くのかもしれない。

### 地域おこし協力隊 活動レポート

# 協力隊が行く!

#### 枕崎の未来を担う若手たち

6月から枕崎で新たな取り組みが始まりました。枕崎青年会議所(以下J.C.)の皆さんが立ち上げた「シティブレイヤーミーティング」です。内容は、「枕崎を『面白く』しようぜ!」を合言葉に市内の20~30代が集まり、若者ならではの自由な発想でまちを盛り上げるための事業を企画・実践するというもの。8月時点でメンバーは30人以上にもなり、数回のミーティングを通して、事業のアイデア出し、チーム分け、そして全体のコンセプト決めなどを行ってきました。冬頃には何かしらの形で事業の発表をする予定です。

私も一参加者として取り組んでいますが、まず驚いたのはメンバーの多様さです。J.C.の方が精力的に声かけをしてくださっていたこともあり、初めてお会いする方が多くいらつしやいました。正直、「枕崎にこんなに若い人がいたのか!」と感激してしまつたほどです。みんな生き生きとした表情で活発にアイデアを出し合い、毎回白熱した議論が展開されています。どの意見も「地元枕崎を盛り上げたい」という共通の想いが根底にあり、そのうえでそれぞれの個性が色濃く反映されたものばかり。今後、こ

#### 3年目のきばらん海を終えて

地域おこし協力隊として最後の年のきばらん海が終わりました。今年も規模を縮小し、神事とサプライズ花火、そしてエフエム鹿児島さんとのコラボ番組のみの開催となりました。2年前の写真を見返すとさみしい気持ちが入り込んでいますが、祭りの形を込めて思います。

#### 市長 コラム vol.30

## 市長 コラム vol.30



フィールド・オブ・ドリームス  
こんにちは、前田祝成です。  
市営野球場を改修しています。昨年度は、内外野のフェンスをコンクリートフェンスからラバーフェンスにして、1塁側・3塁側のダグアウト(ベンチ)も改修、ネット裏から3塁側にかけて高さ20mの防球ネットを新しく設置しました。また、球場周りも整備して、球場東側に駐車場のスペースを整備しました。今後、バックスクリーンやバックネット、外野の防球ネット、スコアボードなども年次的に改修していく予定です。今回の改修を機に、4月には枕崎高校と鹿児島水産高校の交流戦をスタートさせました。中学生の硬式野球・ボーイズリーグの県大会も開催しました。今後も幅広く大会の誘致や大学野球をはじめとしたアマチュア野球のキャンプ、合宿誘致なども積極的に進めていく計画です。もちろんこれまで通り、軟式野球の学童大会をはじめ、多くの大会を開催していきます。

枕崎市営野球場、昭和41年に造られて、これまでさまざまなドグラマを作ってきました。この野球場にいろいろな思い出を持っていく市民の皆さんが多くいらつしやるのではないのでしょうか。通称『本球場』、みんな「ほんきゅうじょう」と呼んで親しんできました。地域少年野球大会では、毎年決勝戦がこの球場で行われますが、1回戦で負けてしまつても、運よくこの「ほんきゅうじょう」で1回戦を戦えると、それだけで少し得をしたような、そんな夏の思い出ができる、野球少年には特別な場所でもあります。まさに、枕崎の野球の聖地。小学生も中学生も高校生も大人たちも、プレーする人も応援する人も、ここで思い出を作っていく。野球少年たちはここで成長していく、まさに「私たちのフィールド・オブ・ドリームス」、これからもみんなでこの「ほんきゅうじょう」を育てていければと思っています。